

全国農業

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

新聞

2025年(令和7年)

11月21日 金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

酒米づくりと酒造り 「楽しく」二刀流

富士川町の名執さん 耕作放棄地再生も



① ワンドリーズのメンバーと名執さん(右)

② 酒蔵での名執さん

【山梨】富士川町で酒米を生産するワンドリーズ(株)代表取締役の名執雅之さん(46)は、7月改

選で2期目の農地利用最適化推進委員としても活動している。
地元J Aの営農指導員

として勤務していた際、同町で約240年続く酒蔵の社長から高齢化で米農家がいなくなるという

悩みを聞き、自分がやるうと決意して、2013年に就農。当初は3・5畝だった農地は地域の耕

作放棄地などを借り受け、今では16畝まで広がった。

11月3月までは同酒蔵の「蔵人」として酒造りに従事し、自身が生産した酒米を仕込むことで品質を確認。次年度の米づくりに生かしている。

活動が評価され22年には優れた農業経営や意欲的な取り組みを表彰する山日YBS農業賞のチャレンジ賞を受賞した。

ブーツを履きハーレーダビッドソンのバイクで水田を見回る名執さんの目標は「楽農」。「若い人や子どもたちに楽しく農業をする姿を見てもらいたい」と語る。